

サポーターとして  
ぜひパーティーに  
ご参加ください

今年もやります！

# 若者の再出発を支えるネット サポーターズパーティー PART 6!

2018年3月24日 SAT  
5:00pm~7:00pm  
覚證寺 (かくしょうじ) にて

当日参加はできなく  
ても、チケット購入で  
もサポーターになって  
いただけることも  
大変ありがたいです

チケットじゃなく、  
ワンコインカンパ  
のサポートも  
ウレシイぜ!

チケット代 2000円 スナック&ワンドリンク付き(2杯目から別料金)

☆この売り上げは "学びサポート" 活動のために使われます  
学びサポート…高校転学・編入サポート、高校卒業資格認定受験サポート、  
若者の再出発資金貸付制度 etc

内容	17:00~	開会
	17:30~	活動報告、会計報告 つながっている若者の紹介 参加者どうしの活動紹介
	18:30~	交流タイム
	19:00~	閉会



チケット購入希望の方は  
こちらへメールください。  
電話でもOKです。

当日券もあります!

無理のない形で  
多くの方に参加して  
いただけることを  
願ったパーティーです

主催  若者の再出発を支えるネット

やり直したいと思っても、独りで悩んで諦めてしまう若者がいます。  
そんな若者を支えたいというおせっかいな大人のグループです。

ホームページ: <http://sasaerunet.web.fc2.com/>  
連絡先: 大町 090-8505-9906





## どこに生まれても、自分の進みたい道に

「一度つまずいた若者が、やり直せる社会をつくる、それを調布から始めたい」その思いを形にするため、2012年“若者の再出発を支えるネット”が発足しました。

きっかけは、調布中N G Oという高校生の活動でした。「どこに生まれても、自分の進みたい道に進めるように」後輩の中学生を応援する目的を、高校生はそう説明しています。

### 「貧困の連鎖」を断つ

今、「子どもの貧困」という言葉を多く耳にするようになりましたが、2008年がその再発見の年と言われています。6人に1人の子どもたちが相対的貧困ライン以下の生活をしていることに、ようやく社会の目が向けられたということです。と同時に、「子どもの貧困」は、その不利が世代を超えて再生産されることで将来に渡って子どもたちを苦しめるということも、大きく取りあげられ始めました。その貧困の再生産は、高校入試という分岐点に大きく関わっています。＜高校入試の失敗または高校中退⇒中卒で社会にでる⇒恵まれない職⇒低所得＞となる恐れが高いということです。調布中N G Oは、『貧困の連鎖』を断つという目標を掲げ、中学生の学習支援を始めたのです。

その高校生たちを応援しようと集まったおとなたちは、新たな問題意識を持つことになりました。高校に入学後の高校中退を防ぐ、あるいは中退後に学び直したいという若者を支える必要もある。それを実行するため、“支えるネット”の活動は始まりました。

### 思いを語り合うサポーターズパーティー

このサポーターズパーティーを開く目的は、若者の再出発を支える資金を集めるためだけではありません。学習支援に関わる若者や、再出発した若者に直接励ましの声をかけたい、何より、同じ思いを抱く人々との出会いの場をつくりたい。それがこの手づくりのパーティーを開く私たちの願いです。

そしてこのパーティーも数を重ね、今年で6回目となりました。その収益金も120万円を超え、今では再出発を応援する貸付制度をスタートさせることもできました。

2015年秋には、調布市子ども・若者総合支援事業がスタートし、市をあげて、子どもたち若者たちが自分の可能性を充分伸ばせるように支援する取り組みが始まりました。私たち“支えるネット”も、この事業と連携し、事業の隙間を埋める活動をしています。

### 『夢』は叶うという希望をもって

2017年子ども・若者を支える新たな枠組みができました。11月1日に正式に発足した、調布市子ども・若者支援地域協議会です。これまでも必要に応じて協力してきた団体や市の部署などが、法律に基づいて公式に連携できることになったのです。“支えるネット”もその輪に加わることが決まりました。

「子どもや若者を真ん中にして、支えるおとなが手をつなぎ」地道に築いてきた信頼関係の上に、その組織が立ちあがったということが、何より調布の素晴らしさではないでしょうか。

「一度つまずいた若者がやり直せる社会をつくる、それを調布から始めたい」多くの人から見えるように旗は高く掲げよう、と、敢えて高く掲げた理想が、もう『夢』でなくなりつつあります。

だから、今年もまた「ほんとは、こんな街にしたいんだ」それを一緒に語り合うために、サポーターズパーティーを開きます。